

総合かぜ薬

第②類医薬品

……イブプロフェン配合……

カゼイブ®

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等
(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬、催眠鎮静薬等)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと (眠気等があらわれることがある。)

4. 授乳中の人は本剤を服用しないが、本剤を服用する場合は授乳を避けること

5. 服用前後は飲酒しないこと

6. 5日間を超えて服用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人、高熱、排尿困難
- (6) 次の診断を受けた人。

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、
混合性結合組織病、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

(7) 次の病気にかかったことのある人。

胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循 環 器	動悸
呼 吸 器	息切れ
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがかたくなる

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブスジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる(このような症状は、特に全身性エリテマトーデスまたは混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)。
心筋梗塞	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る。
脳血管障害	意識の低下・消失、片側の手足が動かしくなくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

(表面のつづき)

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

- 3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
便秘、口のかわき、眠気
- 4.5～6回服用しても症状がよくならない場合(特に3日以上続いたり、また熱が反復したりするとき)は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

かぜの諸症状(のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和



用法・用量

年 齢	成人(15才以上)	15才未満
1 回量	1 回3錠	服用しないこと

1日3回食後なるべく30分以内に水またはお湯と一緒に服用してください。

〈用法・用量に関する注意〉

用法・用量を厳守してください。

成分とその作用

9錠(1日量)中に次の成分を含有いたします。

成 分 名	9錠中	
イブプロフェン	450mg	発熱・悪寒 のどの痛み
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	せき、たん
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	鼻づまり 鼻 水
無水カフェイン	75mg	頭 痛
チアミン硝化物(ビタミンB1)	24mg	関節、筋肉の痛み 消耗性のビタミンの補給
リボフラビン(ビタミンB2)	12mg	
アスコルビン酸(ビタミンC)	300mg	

添加物：エチルセルロース、セルロース、乳糖、CMC-Ca、ステアリン酸Mg、無水ケイ酸、ヒプロメロース、白糖、炭酸Ca、タルク、酸化チタン、カルナウバロウ

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4)本剤をぬれた手で扱わないでください。(変色したり品質が変わることがあります。)
- (5)使用期限(外箱に記載)をすぎた製品は服用しないでください。

本品のお問い合わせは、お求めのお店又は日邦薬品工業株式会社 お客様相談室
「電話：03-3370-7174 (代表)」をお願いいたします。
受付時間……………9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

発 売 元：  **日邦薬品工業株式会社**
東京都渋谷区代々木3-46-16

製造販売元：  **福井製薬株式会社**
大阪市城東区今福東3丁目1番26号